

平成27年度 第11回応用セラミックス研究所教授会議事要録

日時 平成28年3月16日(水) 午前10時00分～午前10時45分
場所 応用セラミックス研究所 1階会議室
出席者 若井所長, 細野, 神谷, 原, 真島, 東, 川路, 笠井, 河野, 大場, 山田,
平松, 谷山, 鎌田, 笹川, 中村, 篠原, 佐藤, 寒野, 阿藤, 須崎の各教員
定足数の確認 現在員24名, 公務欠席3名, 定足基礎数21名, 定足数14名, 出席者21名で成立

配布資料

- 平成27年度第10回応用セラミックス研究所教授会議事要録(案)
 - 1. 海外交流学生の所属変更について
 - 2. 東京工業大学特別研究員称号付与申請書
 - 3. 平成28年度共同利用研究 採択及び配分
 - 4-1. 第11回科学技術創成研究院創設準備会議事メモ (2016/2/23)
 - 4-2. 第12回科学技術創成研究院創設準備会議事メモ (2016/3/9)
 - 4-3. 科学技術創成研究院財務関係資料
 - 5. 電子Journalの費用負担について
 - 6. 東京工業大学における研究拠点組織, 共通教育組織及び共通支援組織等の設置改廃に関する規則 (案)
 - 7. 平成27年度液化ヘリウム関連経費収支決算表 (未確定版)
 - 8. 東京工業大学すずかけ台地区安全衛生管理組織図 (科学技術創成研究院について) (案)
 - 9. 封筒デザイン制作規定
- 10. 平成27年度第11回応用セラミックス研究所企画運営委員会会議事要録 (案)
- 11. 平成27年度第12回応用セラミックス研究所安全衛生委員会・第12回応用セラミックス研究所ブロック安全衛生委員会会議事要録 (案)
- 12. 第119回応用セラミックス研究所共同利用・研究支援室会議事要録 (案)

席上配布資料

- 1. セラミックス機能部門准教授再任審査結果報告
- 2. 第8回材料構造講演会案内

○議事に先立ち, 3月1日付採用の喜多祐介助教から挨拶があった。

○議事要録の確認

平成27年度第10回応用セラミックス研究所教授会議事要録(案) を承認した。

議 事

○審議事項

- 1. 任期付教員の再任審査について
審議に先立ち, 再任審査対象者の笹川准教授に退席いただいた後, 若井所長から, 席上配布資料1に基づき, 再任審査委員会から審査結果報告の提出があった旨説明があった。次いで, 審査結果報告の概要説明があり, 可否投票により, 再任を承認した。なお, 本教授会の結果を学長へ報告し, 最終的な可否の判断は学長となる旨, 補足説明があった。
- 2. 海外交流学生の所属変更について
若井所長から, 資料1に基づき, 海外交流学生の所属変更1件について説明の後, 受入教員の神谷教授から補足説明があり, 審議の結果, これを承認した。

3. 東京工業大学特別研究員の称号付与について

若井所長から、資料2に基づき、東京工業大学特別研究員の称号付与1件について説明の後、研究担当教員の笹川准教授から補足説明があり、審議の結果、これを承認し、次回の科学技術創成研究院創設準備会に付議することとした。

○報告事項

1. 平成28年度共同利用研究の採択について

笠井教授から、資料3に基づき、平成28年度共同利用研究の採択結果報告として、平成27年度と比較し、採択件数、配分額共に減少した理由等について説明があった。次いで、若井所長から、採択通知については4月以降発送する予定である旨、補足説明があった。

○諸会議報告

若井所長から、諸会議報告については所内のホームページに掲載しており、事前に確認していると思うので、質問があればこの場で受ける旨の発言があり、以下の事項について報告があった。

1. 科学技術創成研究院創設準備会 (2/23, 3/9)

資料4-1~4-3に基づき、以下の事項について説明があった。

1) 教員の所属について

・応セラ研で採用された3名の助教について、4月以降の科学技術創成研究院での所属及び系・コース等主担当について承認された。

2) 教員選考の申し合わせについて

・研究院内の他の研究所・センター・ユニットから必ず1名を選考委員に加える。
・選考委員は常勤の教員となっているが、特任教員については、特任教員のみセンター・ユニット

が

あるため、選考委員に特任教員を加えることができるよう、申しあわせを見直すこととなった。

3) 安全衛生委員会のメンバーについて

・全ユニットから1名ずつ委員を選出する。

4) 研究院でのメールアドレスについて

・新しく研究院のアドレスを作成するか、mドメインを使用し、研究院・研究所のアドレスは使わないようにするか、検討中。

5) 研究院・研究所予算について

・研究所の教員あたりの配分は、研究院共通経費として30%除いたものとなる。また、事務を研究院直轄で行うユニット教員については、研究院共通経費を50%とする。また、研究院の予算として、間接経費のより扱いとして、複数の研究所にエフォートを持つ教員については、該当する研究所、教員間で調整する。

6) 科学技術創成研究院創設準備会財務委員会について

・応セラ研からは神谷教授が委員となっており、第1回委員会は3月30日に開催予定。

2. 部局長等会議 (2/19, 3/4)

1) 全学説明会の開催について

・大学改革の進捗状況、学長の次の2年に向けての決意表明がある。すずかけ台地区では、3月18日(木)17時15分よりJ221講義室で開催。

2) マイナンバー(個人番号)の収集状況及び今後の予定について

- ・収集率は、教員 76%、学生 54%。3 月末に退縮又は卒業する者も対象となっているので、未提出の場合は提出するよう依頼があった。

3) 電子ジャーナルの費用負担について (資料 5)

- ・応セラ研から提出した「前年度の間接経費の金額に比例配分した費用負担という案には無理がある」

る」

~~という意見に対する図書館長の回答について概要説明があり、今回は原案とおりとしたが、今後については、各部局より委員を集め、電子ジャーナルの__専門委員会を立ち上げ、検討することとした。~~

4) 情報倫理とセキュリティのためのガイドブックの改訂版について

- ・新入生配布用と教職員の教材として使用する。

5) 文科省の先端研究基盤事業の募集について

- ・募集した所、1 件提案があったが、検討した結果、提出しないこととした。

3. 教育研究評議会 (3/4)

1) 東京工業大学における研究拠点組織、共通教育組織及び共通支援組織等の設置改廃に関する規則等の制定について (資料 6)

- ・学院長又は科学技術創成研究院長は、当該学院又は研究院のセンター等の設置改廃について、研究担当理事・副学長を通じて学長に申請することができるようになった。

4. 5 部局長懇談会 (3/4)

1) 平成 27 年度ヘリウム関連経費について (資料 7)

- ・収支決算報告があり、平成 27 年度は黒字となった。応セラ研としては使用実績に貢献している。

2) 5 部局長懇談会の体制について

- ・4 月より研究所長は部局長ではなくなる為、「5 部局長懇談会」を「すずかけ台地区部局長等懇談会」に名称変更する。(部局長等とするのは、研究所長も構成員とするため。)

3) すずかけ台地区安全衛生管理体制について (資料 8)

- ・部局長が安全衛生委員会の委員となるので、各研究所長はオブザーバーとなる。
- ・過半数代表者の推薦に基づく委員は各研究所から選出できるので、応セラ研からも 1 名選出する。

4) 封筒について (資料 9)

- ・すずかけ台統一で作成するが、フロンティア研としては、独自に名称入りで作成することとした。

5. 5 研究所長懇談会 (3/4)

1) 4 大学連合文化講演会への対応について

- ・毎年 1 回開催している講演会について、日本経済新聞社が新聞紙上での告知・講演録の広告を行っていたが、値上げの提案があったため、今後は研究所が中心ではなく、大学が中心となり行うこと等について 4 大学連合附置研究所懇談会において協議することとなった。

6. 企画運営委員会 (3/2) (資料 10)

1) フロンティア研と未来研の併任者の予算・事務手続きについて

- ・フロンティア研と未来研でエフォートを分け合う応セラ研の建築系教員、精研の材料系教員の間接経費及び事務支援の取扱について議論した結果、本務となる担当の研究所で行うべきであるという結

論となった。

2) フロンティア材料研究所の将来の在り方について

- ・ 研究院改革の次の段階として、フロンティア材料研究所の将来の在り方について議論する必要性が指摘された。

3) 学際・国際的高度人材育成ライフイノベーションマテリアル創製共同研究プロジェクトについて

- ・ 6研プロジェクトの後継として発足する同プロジェクトが発足する機会にメンバーの組換えを行う方針。

7. 応用セラミックス研究所安全衛生委員会・応用セラミックス研究所ブロック安全衛生委員会 (3/9)

川路教授から、資料11に基づき、以下の事項について報告があった。

1) 平成28年度すずかけ台地区安全衛生委員会について

2) 産業医職場巡視における指摘事項とその対策について

- ・ 指摘される頻度の高い、ボンベ等の点検防止について、あらためて注意喚起があった。

3) 緊急シャワーの点検について

- ・ 他部局で緊急シャワーの点検を行った所、半数程度修理が必要なことが判明したため、今後、応セラ研でも点検実施について検討の必要がある。

4) ヒヤリハット報告について。

5) ナフタレン及びリフラクトリーセラミックファイバーの特定化学物質への追加について

- ・ 応セラ研ではナフタレンの使用はほとんどないが、リフラクトリーセラミックファイバーについては、電気炉等の天井や炉壁の耐火材・断熱材・耐熱シール材等に使用されている可能性が高いので、電離炉等を自作・修理する場合、取扱作業が法令の対象となる旨、注意喚起があった。

6) 平成27年度安全衛生マネジメント活動報告について

7) 第38回すずかけ祭の研究室公開に伴うリスクアセスメントについて

8) 緊急連絡網について

9) 平成28年度フロンティア材料研究所安全講習会について

- ・ 例年どおり実施を計画した。

8. 共同利用・研究支援室会議 (3/2)

若井所長から、資料12に基づき、以下の事項について報告があった。

1) 共同利用推進室会議・共同研究委員会開催報告について

2) 平成28年度共同利用研究の採択について

3) HP更新作業について

- ・ 教員照会の分類を領域毎にすることとした。

4) 平成28年度共同利用研究予算による外国人研究者の雇用について

- ・ 研究所全体で方針を決定してから検討する。

5) 春のニューズレターについて

- ・ 執筆者の説明があった。

6) 共同利用研究採択通知の発送準備について

7) 研究所パンフレットについて

8) 要覧の発行準備について

9) 第8回材料構造講演会について

- ・席上配布資料に基づき、3月17日（木）に開催される材料構造講演会への参加案内があった。

以 上